

みんなで地域づくり事業企画書

団体名	四街道ともに築く未来の会
事業名	第10回わくわく市民活動フェスタ事業～子どもも市民～
目的・必要性	<p>＜事業目的＞</p> <p>「子育て日本一」を目指す四街道市にあって、「子どもも市民」「つなげようひろげようみんなのわ」のテーマのもと、未来を担う子ども達へ親子で楽しむ笑顔づくりを応援します。同時に子ども達の主体性や協調性等を育み、エコ体験、障がい者体験などの社会体験や市民活動がどのようなものを学び合う社会教育を目的とします。そして、普段異なる分野で異なる目標を持ち幅広い活動を展開している市民活動団体やPTA・自治会等地元組織が、自分たちの活動の範囲を超え協働して「わくわく市民活動フェスタ」や「わくわく市民活動フォーラム」の開催を通し、自分たちの活動の範囲を超えた市民協働の意識を高め、まちづくりにつながる市民活動活発化の一端とします。</p> <p>【まちづくり】フェスタ会場は5中学校区の中の小学校を輪番で開催します。今回は栗山小学校を予定しています。各小学校は地域的コミュニティの中心として、それぞれの地域的背景、歴史や地域課題を有し、地域の精神的拠り所になっております。基本的なイベント目的・内容での取組と共に、開催小学校区の地域組織や人々と地域課題と解決方法について意見交換を行います。コミュニティの希薄化が進む中、その取組を通じ、地域で密着活動する地域団体と参加者親子の親密度が上がれば次の展開へつながると考えます。</p> <p>【まちづくり】障害のある人について多くの人に関心を持ち、健常者と障がい者が出会うなかで「障がい者体験をする」など障がい者と健常者がともに暮らせるまちづくりへ意識向上の面での一助となることを期待し、障がい者団体組織「のぞみの会」等とも連携を図ります。</p> <p>【社会教育】当日は小学校（体育館、校庭、校舎）を会場に「つくってあそぶ」、「あそぶ」、「みる」、「きく」、「エコ体験する」、「生活技術の体験する」、「障害者体験をする」「復興支援を手伝う」、「たべる」などのブースを設けます。各ブースの団体は同時に自分たちの活動のPRも行い子ども達の市民活動の理解へつなげます。学校教育の補完として社会教育の一環とします。</p> <p>【子どもの健全育成】【社会教育】「子どもが主役本部席」を設けます。子どもリクルート、アナウンス、ブース手伝い、靴整理隊等の役割を子どもたちが担います。大人に交じってイベントを運用・活動することにより、充実感や自己有用感を獲得し、主体性、協調性、社会性などの向上につながる社会教育の一環とします。</p> <p>【子どもの健全育成】全体イベントとしては「学校児童による演奏」「地域連盟による演奏・演舞」などで子どもたちや一般市民が参加しての自分で表現する楽しさを味わうと同時に、知り合いが多い会場の参加者たちを盛り上げます。</p> <p>【子どもの健全育成】地域の宝である子ども会がないところが増えていきます。四街道市子ども会育成連合会等とも連携を図りながら、子ども会の育成に協力します。</p>

	<p>【市民活動支援】参加団体が自らの活動を紹介すると共に企画～準備～実施過程において市民協働の意識を広げるために多数の市民が参加するフェスタとします。市民活動を広く周知することにより市民活動に参加する市民が増え市民活動を活発化することも目的に実施しています。同時に、普段お互いに接触機会の少ない、多方面にわたって異なる活動をする市民活動団体と地域団体と市民が、顔と顔を合わせた「市民活動フォーラム」を開催します。地域活動活発化と深化につながる一助となることを期待します。</p>	
<p>内容</p>	<p>1. 第10回わくわく市民活動フェスタ 概要：①栗山小学校（承認・調整手続きは今後実施）の体育館・校庭で親子で楽しめるフェスタの実施。実施時期は2016年2月度を予定、今後市内5中学校区内の小学校を輪番で実施を予定する。 ②イベント内で「子どもが主役本部」「子どもの出演」「社会体験」「市民活動学習」など子どもの健全育成と社会教育を重視する。 ③準備過程を通じ各種市民団体と地元活動団体と市民が協働して作業を行い交流を深め、協働意識を広げる。</p> <p>2. わくわく市民活動フォーラム 概要：①四街道市文化センター会議室（仮案：準備段階で再検討）にて、「市民活動フォーラム（(仮題) 地域課題と市民活動)」を2015年8月～9月の間に開催します。②上記フェスタ開催に向けた実践的な協働を踏まえ、地域課題に連動した市民活動の協働のありかた等をお互いに学び合う。</p>	
<p>スケジュール</p>	<p>時期</p>	<p>具体的な取組</p>
	<p>4月</p>	<p>①（プレ）実行委員会の編成 ②フェスタ概要の検討～原案の作成 ③市と小学校への協力要請と小学校施設使用の許可取得</p>
	<p>5月</p>	<p>①地域活動団体への説明と協力要請 ②地域活動家へ実行委員への参加要請 ③フェスタ目的へつなげる具体的実施事項について検討と意見の交換</p>
	<p>6月 ～ 9月</p>	<p>①（拡大）実行委員会の編成と役割分担による具体的事項の検討 ②フォーラム及びフェスタ実施内容の検討 ③フォーラム実行計画書の作成 ④新規団体等（自治会、社会教育団体、少年スポーツ等団体）へ参加呼びかけと申込の受付 ⑤出展出演団体へ出展出演内容調査・確認 ⑥フォーラムの準備、呼びかけと実施</p>
	<p>10月 ～ 11月</p>	<p>①フェスタ具体的実施計画の作成（出展団体申込の集約、出展内容・必要備品等の申込、会場の下見等） ②広報内容の検討（ポスター・ちらしの原案、配布内容、広報媒体への接触） ③第1回出展代表者会議の開催（出展者紹介、出展内容・必要備品等の申込、会場の下見）</p>
	<p>12月 ～ 翌1月</p>	<p>①出展内容の最終確認、使用機材、全体作業の役割分担の決定 ③使用機材の作成（横断幕、案内掲示板、マニュアル、イベントツール提供品等）</p>

		②出展代表者会議第2回の開催（出展内容の最終確認、全体作業の役割分担の決定）
	2月	①イベント告知（ポスター、チラシ配布、媒体記事） ②イベントの準備～開催～片付け ③参加者のアンケートの実施 ④収支の確定と内部会計監査の実施
	3月	①実施結果の確認と評価（反省会と報告書の作成） ②市と関係機関への結果報告 ③実行委員会の解散
役割分担の想定	<p>（団体の役割）</p> <p>実行委員会の編成、イベント計画の作成、関係機関への調整、出展団体の募集、収支予算の作成、実行、報告</p> <p>具体的イベントの準備、運用、後片付け等具体的な作業と調整</p>	
	<p>（市の役割）</p> <p>補助金の負担</p> <p>フェスタ内容と実施プロジェクトへの助言とフォーラムへの助言</p> <p>対象小学校への施設使用許可と協力への援助</p> <p>市政だよりへのPRや自治会へのちらし配布、みんなで地域づくりセンター広報等広報関係の援助</p> <p>市役所、公共施設にある備品でイベント当日の不足品等の提供</p>	
他団体との連携	<p>市内で市民活動を行っている団体に働き掛け、出展と協働運営を実施する。</p> <p>（子ども会育成連合会、障がい者団体連合会との連携も含む）</p> <p>地元小学校のPTA、父母の会、自治会、商工会等へ参画を依頼し、協働運営を実施する。</p>	
期待される成果	<p>①「わくわく市民活動フェスタ」は2014年2月、大日小学校では850人の来場実績があり、今回は700人程度の来場者を見込みます。大勢の子どもたちが楽しみ、学ぶことができます。</p> <p>②イベントの準備から実施に向け約1年をかけて活動する人は、延べ250人・日程度、当日の全体運用で活動する人は150名程度を見込むなど、イベントの開催という共通の目標に向けて多くの異なった分野の人が自分たちの活動の範囲を超えて協働し交流を深めることができます。</p> <p>③年1回のフェスタではあるが、市内12小学校へ巡回し開催することにより偏りなく公平に、小学校を中心とする地域に親や近所の人も参加する身近なまちづくり活動につながります。</p> <p>④出展団体数約40と見込む市民活動団体の存在と最新の活動の状況を知り市民活動参加のきっかけが作れます。</p> <p>⑤2014年9月、みそら自治会集会場での「わくわく市民活動フォーラム」には110人の来場実績があり、2015年9月実施予定のフォーラムには150人程度の方の来場者を見込みます。地域課題の理解や市民の市民活動、地域活動の深化の一助になります。</p>	

備考

- 「役割分担の想定」のうち（市の役割）は、事業形態がサポート型にあつては、役割がある場合に記載してください。
- 「期待される効果」は、数値等を記載してください。